

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【公表番号】特表2012-514571(P2012-514571A)

【公表日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【年通号数】公開・登録公報2012-025

【出願番号】特願2011-544776(P2011-544776)

【国際特許分類】

C 0 1 B	33/40	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/12	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	5/16	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 K	33/06	(2006.01)

【F I】

C 0 1 B	33/40
A 6 1 P	1/04
A 6 1 P	1/12
A 6 1 P	1/16
A 6 1 P	5/16
A 6 1 P	13/12
A 6 1 P	1/02
A 6 1 P	17/00
A 6 1 P	31/04
A 6 1 K	33/06

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年11月4日(2014.11.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

Na⁺含有量が、Na₂Oとして計算した場合に、2%以上であって、

1) 90%以上の純度を有するモンモリロナイトと0.1~10mol/Lの酸とを1:1~100の重量比で混合し、続いてモンモリロナイトの重量に基づいて0.05~3.5%の分散剤を加えた後に、混合物を加熱することによって酸を除去し、洗うことによって、修飾水素モンモリロナイトの液体分散体を得る工程；および、

2) 1)において得られた修飾水素モンモリロナイトの液体分散体の固形分を0.5~10%に調整した後に、モンモリロナイトをナトリウム修飾に付すために、ナトリウム修飾剤をモンモリロナイトのカチオン交換能以上の量で加える工程、

を含む方法により調製する、修飾ナトリウムモンモリロナイト。

【請求項2】

修飾ナトリウムモンモリロナイトの粉末X線回折スペクトルにおける d_{002} ピークに対応するd値が、6.00～6.5である、請求項1に記載の修飾ナトリウムモンモリロナイト。

【請求項3】

修飾ナトリウムモンモリロナイトの純度が、99%以上である、請求項1に記載の修飾ナトリウムモンモリロナイト。

【請求項4】

Ca^{2+} 含有量が、 CaO として計算した場合に、0.5%以下である、請求項1に記載の修飾ナトリウムモンモリロナイト。

【請求項5】

修飾ナトリウムモンモリロナイト1g当たりの硫酸ストリキニーネの吸着量が、0.50～0.60gである、請求項1～4のいずれか1項に記載の修飾ナトリウムモンモリロナイト。

【請求項6】

修飾ナトリウムモンモリロナイトにおける重金属の含有量が、10ppm以下である、請求項1～4のいずれか1項に記載の修飾ナトリウムモンモリロナイト。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか1項に記載の修飾ナトリウムモンモリロナイトの調製方法であって、

1) 90%以上の純度を有するモンモリロナイトと0.1～1.0mol/Lの酸とを1:1～100の重量比で混合し、続いてモンモリロナイトの重量に基づいて0.05～3.5%の分散剤を加えた後に、混合物を加熱することによって酸を除去し、洗うことによって、修飾水素モンモリロナイトの液体分散体を得る工程；および、

2) 1)において得られた修飾水素モンモリロナイトの液体分散体の固形分を0.5～1.0%に調整した後に、モンモリロナイトをナトリウム修飾に付すために、ナトリウム修飾剤をモンモリロナイトのカチオン交換能以上の量で加える工程、
を含む方法。

【請求項8】

モンモリロナイトの純度が、95%以上である、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

分散剤が、ヘキサメタリン酸ナトリウム、ピロリン酸ナトリウム、ポリリン酸ナトリウム、トリメタリン酸ナトリウム、ジメタリン酸ナトリウム、ポリアクリル酸ナトリウム、リン酸三ナトリウム、クエン酸ナトリウム、 Na_2HPO_4 、 NaCl 、 NaF 、尿素、 NaH_2PO_4 、アンモニア水、硫酸ナトリウム、塩酸、酢酸及びシュウ酸からなる群より選択される任意の一つ、又は、これらの任意の組み合わせである、請求項7に記載の方法。

【請求項10】

使用される分散剤の量が、使用されるモンモリロナイトの量に基づいて、0.25～2.0%である、請求項7に記載の方法。

【請求項11】

工程2)における修飾水素モンモリロナイト分散体の固形分が、3～6%である、請求項7に記載の方法。

【請求項12】

使用されるナトリウム修飾剤の量が、モンモリロナイトのカチオン交換能よりも、2～6%過剰である、請求項7に記載の方法。

【請求項13】

ナトリウム修飾の後に得られたスラリーを、洗浄及び濃縮する工程を更に含む、請求項7に記載の方法。

【請求項14】

固形分が0.5～6.0%である請求項1～6のいずれか1項に記載の修飾ナトリウムモンモリロナイトの水溶液を調製する工程；適切な装置を用い、高速剪断作用によって水溶

液を分散及び均質化する工程；乾燥する工程；及び、微粉碎する工程を含む、修飾ナノメートルナトリウムモンモリロナイトを調製する方法。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載の方法により調製される修飾ナノメートルナトリウムモンモリロナイト。

【請求項 1 6】

粒径が、0.4 μm以下である、請求項 1 5 に記載の修飾ナノメートルナトリウムモンモリロナイト。

【請求項 1 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の修飾ナトリウムモンモリロナイト又は請求項 1 5 若しくは 1 6 に記載の修飾ナノメートルナトリウムモンモリロナイト、及び、薬学的に許容される担体から構成される、消化管疾患を治療するための医薬組成物。

【請求項 1 8】

消化管疾患が、消化管潰瘍、下痢及び胃炎からなる群より選択され、胃炎が慢性胃炎である、請求項 1 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 1 9】

薬剤の製造における、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の修飾ナトリウムモンモリロナイト又は請求項 1 5 若しくは 1 6 に記載の修飾ナノメートルナトリウムモンモリロナイトの使用。

【請求項 2 0】

薬剤が、消化管疾患を予防及び／又は治療するための薬剤である、請求項 1 9 に記載の使用。

【請求項 2 1】

消化管疾患が、胃炎又は急性若しくは慢性下痢疾患である、請求項 2 0 に記載の使用。

【請求項 2 2】

薬剤が、ビスマスクエン酸カリウムの生体付着性処方剤である、請求項 2 0 に記載の使用。

【請求項 2 3】

薬剤が、甲状腺機能亢進症、慢性腎不全、口臭症、皮膚病、ヘリコバクター・ピロリの感染により引き起こされる胃腸管疾患又はエタノール誘因性肝損傷を予防及び／又は治療するための薬剤である、請求項 1 9 に記載の使用。

【請求項 2 4】

建設材料、農薬及び肥料の担体、飼料添加剤、飼料解毒剤、工業用触媒、工業用担体、吸着剤、医療用補助剤又は食物用補助剤の製造における、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の修飾ナトリウムモンモリロナイト、又は、請求項 1 5 若しくは 1 6 に記載の修飾ナノメートルナトリウムモンモリロナイトの使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 5】

本発明の別の目的は、修飾ナトリウムモンモリロナイトを調製する方法であって、

1) 90 % 以上の純度を有するモンモリロナイトを、モンモリロナイトの酸性化又は酸処理のために、0.1 ~ 1.0 mol/L の酸と 1 : 1 ~ 100 の重量比で混合し、続いてモンモリロナイトの重量に基づいて 0.05 ~ 3.5 % の分散剤を加えた後に、混合物を加熱することによって酸を除去し、洗うことによって、修飾水素モンモリロナイトの液体分散体を得る工程；および、

2) 1) において得られた修飾水素モンモリロナイトの液体分散体の固形分を 0.5 ~ 1.0 % に調整した後に、モンモリロナイトをナトリウム修飾に付すために、ナトリウム修

飾剤をモンモリロナイトのカチオン交換能以上の量で加える工程を含む方法を提供することである。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

本発明は、修飾ナトリウムモンモリロナイトの調製方法であって、

1) 90%以上の純度を有するモンモリロナイトと、0.1~10mol/Lの酸とを1:1~100の重量比で混合することによって、酸性化又は酸処理を行い、続いて、モンモリロナイトの重量に基づいて0.05~3.5%の分散剤を加えた後に、混合物を加熱することによって酸を除去し、洗うことによって、修飾水素モンモリロナイトの液体分散体を得る工程；および、

2) 1)において得られた修飾水素モンモリロナイトの液体分散体の固形分を0.5~10%に調整した後に、モンモリロナイトをナトリウム修飾に付すために、ナトリウム修飾剤をモンモリロナイトのカチオン交換能以上の量で加える工程、
を含む方法を提供する。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

本発明の幾つかの実施態様において、工程1)における加熱の時間は、0.5~100時間、好ましくは2~70時間、より好ましくは3~40時間、最も好ましくは5~20時間である。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0038

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0038】

本発明の幾つかの実施態様において、工程1)における加熱の温度は、30~100、好ましくは40~95、より好ましくは50~90、さらにより好ましくは60~85、最も好ましくは70~80である。